

ギャンブル依存症の 診断と治療

藍里病院

1、ギャンブル依存症とはどんな病気か？

- 「夫はあちこちのサラ金に借金しているのに、競馬がやめられないの」
- 「息子は結婚して、子どももまだ小さいのに、パチンコで借金を作っているようだ」
- 「妻は家事を放り出してパチンコ屋に入り浸りでこまっています」
- 「息子は大学に入学したのに、スロットばかりしてとうとう留年してしまいました」
- 「意志が弱いだけでしょ。本人に止める気があれば止まるにきまっている」
- 「家族がどれだけ苦しんでいるか分ったら、ギャンブルは止めてくれるでしょう」
- 「ウソばかりついて、もう何を信じればいいのかわからない」
- 「この人ほんとは世話好きでいい人なの、暇があるからパチンコに行ってしまうだけ」

アルコールや薬物にはまってしまい、飲酒や薬物使用が心身を害していると分かっていても止められない人は、依存症(アルコール依存症、薬物依存症)という病気を患っています。ギャンブルという行為も依存状態を引き起こします。単なる気晴らし、遊びの域を飛び越えて、自分の意志の力ではもう止められない状態に進行していきます。これがギャンブル依存症です。

家族は多重債務に陥ったギャンブラーにギャンブルを止めるように説得したり、説教したり、もう止めて頂戴と泣いて頼んだり、もし止めないなら縁を切ると脅したりします。ギャンブラーは家族の前では「二度とギャンブルには手は出さない」と涙ながらに誓いますが、またギャンブルをしてしまい、家族は「裏切られた」思いで怒り、絶望することになります。

なぜギャンブラーは破滅するかもしれないと薄々分っていながら、ギャンブルを止められないのでしょうか？ギャンブラーは家族を大事に思っていないから、ギャンブルを続けるのでしょうか？自分勝手なわがままな人間なのでしょうか？もともと嘘つきの遊び人なのでしょうか？

親なら「私の育て方が悪かったから」、配偶者なら「自分に至らない所があったから」と自分を責めてみたり、その反対に「あなたのせいで家族はみんな地獄だ」とギャンブラーを責め立ててみたり、家族も大きな感情の波にさらわれてしまいます。ギャンブラー本人も「人間失格だ、自分はどうしようもない人間だ」と自己否定してしまいます。

ギャンブル依存症という病気を患っているのです、ギャンブルを止められないのです。まずはギャンブル依存症がどんな病気を理解することから始めましょう。

2、ギャンブル依存症の診断

ギャンブル依存症を診断するテストを2つ紹介します。

①アメリカ版：精神障害の診断と統計の手引き第3版（DSMIII）

- 1 いつも頭の中でGbのことばかり考えている
- 2 Gbに使う金額が次第に増える
- 3 Gbを止めようとしても止められない
- 4 Gbを止めているとイライラして落ち着かない
- 5 いやな感情や問題から逃げようとしてGbする
- 6 Gbで負けた後、負けを取り返そうとしてGbする
- 7 Gbの問題を隠そうとして、家族や他の人に嘘をつく
- 8 Gbの元手を得るために、文書偽造、詐欺、盗み、横領、着服などの不正行為をする
- 9 Gbのために、人間関係や仕事、学業などがそこなわれる
- 10 Gbで作った借金を他人に肩代わりしてもらっている

※10項目中5項目以上該当するとギャンブル依存症だと診断がつきます。

②サウス・オークス・ギャンリング・スクリーン（SOGS）

- 1, ギャンブルで負けたとき、負けた分を取り返そうとして別の日にギャンブルしますか？
(a)しない (b)2回に1回する (c)たいていする (d)いつもそうする
- 2, ギャンブルで負けたときでも、勝っていると嘘をついたことがありますか？
(a)ない (b)半分はそうする (c)たいていそうする
- 3, ギャンブルのために何か問題が生じたことがありますか？
(a)ない (b)以前はあったが今はない (c)ある
- 4, 自分がしようと思った以上にギャンブルにはまったことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 5, ギャンブルのために人から非難を受けたことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 6, 自分のギャンブル癖やその結果生じた事柄に対して悪いなと感じたことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 7, ギャンブルを止めようと思っても、不可能だと感じたことがありますか？
(a)ある (b)ない

- 8, ギャンブルの証拠になるような券などを家族の目に触れぬよう隠したことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 9, ギャンブルに使うお金に関して、家族と口論になったことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 10, 借りたお金をギャンブルに使ってしまい、返せなくなったことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 11, ギャンブルのために仕事をさぼったことがありますか？
(a)ある (b)ない
- 12, ギャンブルに使うお金をどのようにして作りますか？またどのようにして借金しますか？あてはまるもの全部に○を
(a)生活費を削って (b)配偶者や両親の金から (c)親戚・知人から
(d)銀行から (e)サラ金から (f)定期預金の解約 (g)保健の解約
(h)家財を売って (i)その他()

※質問1;c,d、質問2・3;b,c、質問4～11;a が各1点、質問12は○が付いた数で合計。3、4点が「問題あるギャンブル」、5点以上が「ギャンブル依存症」

3、ギャンブル依存症の症状

ギャンブル依存症の**2大症状が借金と嘘**です。

借金が始まった時はすでにギャンブル依存症の段階に入っています。ギャンブルは最初は自分の小遣いの範囲から始まります。必ず負ける仕組みになっていますので、ときどき大勝はしても、合計では必ず損をしています。そのうち小遣いでは足りない段階がきます。生活費を使う、貯金を切り崩す、持っている金目の物売る、家族の物売る、家の金に手を出す、とエスカレートしていき、たいていはサラ金に行きつきます。サラ金も1社だったのが、その利子が支払えなくなると2社3社と借金先が増え、利子を払うために他のサラ金会社から借金するという、いわゆる「自転車操業」状態になります。これにも限界くると、家族に嘘をついて金を出させる、会社の金に手を出す、窃盗をはたらくなどの手段に発展していくことも多いです。

アルコール依存症と違って(過剰に飲酒すれば酩酊しますので、酔った姿は一目瞭然です)、ギャンブルはしてもその影響が見た目にすぐにはわかりません。ごまかしが

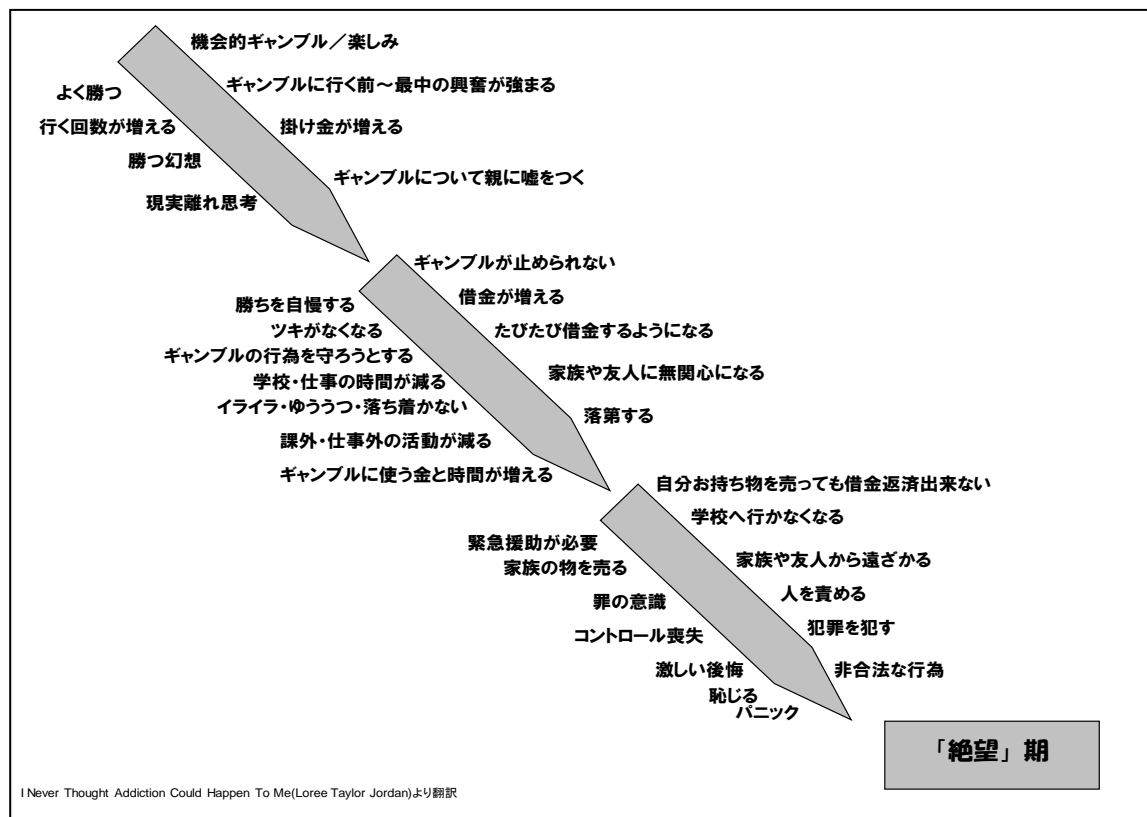
ききます。ばれないように嘘とごまかしがギャンブラーを支配していきます。ただ、ごまかしきれずに問題が発覚した時が治療の最大のチャンスなのですが、周囲の人がギャンブル依存症の正しい知識がないと対応を間違い、絶好の機会を逃してしまいます。

ギャンブル依存症になるとその人の思考も歪んでいきます。**ギャンブル依存症特有の思考の歪み**を列記します。

- 1 ギャンブルは重要な活動である
- 2 ギャンブルはお金を稼ぐ手っ取り早い方法である
- 3 ギャンブルをしないような人は臆病かアホである
- 4 ギャンブルに熱心な人は、頭がいい
- 5 ギャンブルは健全なレクリエーションである
- 6 自分のギャンブルはコントロールできている
- 7 止める必要はない、おさえればいい
- 8 勝って取り戻せる
- 9 頭がいいから、確率も打ち負かせる
- 10 多額の金をかける人は尊敬に値する
- 11 いつか大勝ちしてギャンブルから栄えある引退をしよう
- 12 ギャンブルで自分の問題は解決できる
- 13 高い贈り物をすれば、過去は償える
- 14 ギャンブルで気分はよくなる
- 15 自分の問題はお金の問題だ
- 16 どうせ後で返したらいい
- 17 ギャンブルのお金を借りてもよい
- 18 ギャンブルのために盗むのは本物の盗みではない
- 19 多額のお金を賭けるほど、勝つチャンスも大きくなる
- 20 少しのお金しかなくても、やったほうがいい
- 21 事態が悪化すれば、誰かが尻ぬぐいをしてくれる
- 22 なぜギャンブルをするのかの原因さえわかれば、ギャンブルを止められる。
- 23 意志の問題だ
- 24 自分は必ず勝つ
- 25 自分は幸運な人間だ
- 26 自分ではやめられない
- 27 自分は2重人格ではないかと思うことがある
- 28 自殺すれば問題は片づく
- 29 治療を受ける金がない、援助を受けている時間もない
- 30 すぐに、できるだけ多額のお金をつくらなければならない

4、ギャンブル依存症への進行

下の図のようにギャンブル依存症は進行します。これは学生の場合です。



ギャンブルを始めてから絶望期に至るのに、ある調査では7年とされています。

4、ギャンブル依存症の患者数

数年前に行われた厚生労働省ギャンブル依存研究班の調査から、驚くべき数値が出ました。日本におけるギャンブル依存症の有病率が男性では9.6%、女性では0.9%でした。成人人口の約5%、およそ2000万人と推定できます。欧米の1.5~2.5%をはるかに超える数値ですが、マスコミなどで大きく取り上げられることはありませんでした。これには日本特有の国家的な規制の甘さが影響しています。ギャンブルと認定されていないパチンコスロット(「遊技」と認定)産業が年商24兆円と言われています。世界中にあるパチンコスロット台の約3分の2の500万台が日本にあります。それがほとんど規制を受けず、「野放し状態」と言っても良いのが現状です。

5、治療

①診断

治療はまずギャンブル依存症と診断がつくことです。個人の意志や、人格の問題ではなく、れっきとした依存症という病気(脳の機能の疾患)であると認識することがまず不可欠です。しかし、まだまだギャンブル依存症に関心を持って治療に当たる精神科医が極端に少ないのが現状です。残念なことに、病気と診断されず、当然適切なアドバイスを受けることもできません。そこで、県精神保健福祉センターなどでギャンブル依存の治療をしている医療機関を教えてもらわねばなりません。徳島県では公的医療機関でギャンブル依存症の治療をしている病院はありません。

②通院治療

ギャンブル依存症に有効な薬物治療はまだありません。唯一の治療は**週1回以上の自助グループのミーティング**(ギャンブル依存症当事者がギャンブルを止めるために集まって体験を話し、聞く会。GA;ギャンブラーズ・アノニマスという名称)出席と**月1回の通院**です。

当院で**毎週土曜日昼の12時からGAのミーティング**が開かれています。

③入院治療

借金で身動きとれなくなり、社会生活が完全に破綻した場合が入院治療の適応になります。人生の仕切り直しと自分の病気についての学習、自助グループへの参加の習慣付けに役立ちます。入院中に徹底した財務整理をして、退院後の生活設計をがっちり固めておくことも出来ます。ギャンブルをしながらでは、徹底しないのでうまくいかないことが多いです。ケースにもよりますが当院では4～8週間の入院期間です。

④家族支援

家族もこの病気の特徴を理解しなければ、病気の回復はできません。家族がすべきこと、してはならないことを見分けられ、そうする意味も理解しなければなりません。次に要点だけを書いておきます。

- ・意志や自覚の持ちようで治るという誤った考えを捨てる
- ・基本的には対応策はない
- ・借金の肩代わりをしない、尻拭いをしない
- ・お金の無心をされても貸さない
- ・ギャンブル依存症についての本を読む
- ・相談できる機関に連絡を取る
- ・家族勉強会やギャマノンに出る

当院では**第2・4土曜日午前10時～11時半に依存症家族勉強会**を行っています。第2土曜は意見交換会の形式、第4土曜は依存症専門医による依存症とその

対応についての講義を行っています。また**ギャンブル依存症の家族会も第2・4土曜日の昼12時から当院で開かれています。**

当事者が治療の場に姿を現す前に、まず家族だけでも相談に行くことがとても大切です。家族がこの病気のことを理解し、当事者への対応が変わると事態の打開に必ずつながります。

⑤財務整理

借金がある場合、これを徹底しなければ、再発は必至です。ギャンブル依存症に詳しい司法書士～相談所でなければ、単なる借金問題になってしまいます(アルコール依存症のために内臓疾患になったのに、内科治療だけで終わってしまうのと同じ)。当院で紹介もできます。

⑥金銭管理

ギャンブル依存症者にとってギャンブルへの最大最強の引き金は現金です。現金イコールギャンブル資金だと見なさなければいけません。どんな大切なお金でも(生活費、子どもの学費、会社の運転資金、借金の返済金、退職後の貯金など)ギャンブラーにとってはギャンブルへの切符でしかありません。特にとりあえずの回復安定期といわれる3年までは現金の徹底した管理が必要です。

ギャンブル依存症からの回復には長い時間と地道な努力が必要です。手っとり早い方法はありません。途中で失敗(「スリップ」と言います)することも当たり前の病気です。しかし、諦めずにミーティングに参加し、通院を続けさえすれば回復する病気です。

6、診察～相談予約の仕方

藍里病院に連絡をして、診察の予約を取ってください。本人がなかなか受診を受け入れない場合も非常に多いですが、そういうときは家族だけが先に相談に来ることをお勧めします。ギャンブル問題で相談したいと窓口で伝えてください。専門の者がそのあと対応します。

連絡先;藍里病院 TEL 088-694-5151